

第80号 社協だより

笑顔

令和6年3月1日発行
【天草市社会福祉協議会】

金力感
美の花さけ
必勝

『みんなが幸せな天草』を
目指して

福祉副読本を活用した授業

詳しい記事は2・3ページをご覧ください

福祉副読本とは？

子ども民生委員活動にあわせて福祉教育の一環として福祉に対する内容を小学生にもわかりやすく学んでもらうために、令和5年11月に福祉副読本を発刊致しました。

わたしたちに
できること

・ボランティアって
なんだろう？



地域を
知ろう

・天草の現状



障がい者の
生活

・障がいのある人
への思いやり



やさしい心
思いやりの心

福祉って
なんだろう？

・福祉の意味



高齢者の
生活

・福祉サービスの紹介



子どもの
生活

・「ちくちく言葉と
ふわふわ言葉」



「やさしい心 思いやりの心」

～ 福祉副読本を活用した学習 ～

「子どもたちが福祉に関心を持ってほしい。」この願いを念頭に置き、編集委員や監修の岡村 ゆかり氏（熊本学園大学 社会福祉学部 助教）からたくさんのご意見をいただき、完成した福祉副読本。

令和6年2月6日（火）、天草市立亀川小学校（沢村 祐介 校長）において、福祉副読本を使った授業が編集委員と、天草市教育委員や指導主事も見守る中、5年2組を対象に行われました。

「みんなが幸せな天草を実現するために、自分たちに何ができるかを考える」をテーマとし、子どもたちは、今まで福祉副読本を活用し福祉について学習した事について意見発表を行いました。



子どもたちの考え



天草市立 亀川小学校
教諭 洞口 典寛 氏

自分たちが暮らす天草について、まとめられている副読本を活用したことで、ふるさと天草や福祉に対する興味関心を高めて授業を展開することができました。天草の現状や様々な施設、子ども・高齢者・障がい者の生活等についてまとめてあるため、調べ学習では非常に有効でした。

多くの児童が「地域でどんな取組が行われているか、もっと知っていきたい。」「自分も参加してみたい」といった感想を持ち、社会参画の意識の高まりを感じました。自分たちの生活と学びをつなげて考えている児童が多いことが印象的で、学んだことを自分のこととしてとらえ、考えたことを実際に地域で生かしていく児童が期待できると感じています。

「やさしい、思いやりの心」を育成するためにも有効でした。未来を創る子どもたちが、このように自分たちが暮らす地域について考えることができ、有意義な学びとなりました。ありがとうございました。

この福祉副読本を天草市の将来を担う児童のみなさんにとって、より良い教材になるように考えています。天草市内の小学校の先生方ご協力のもと、1人でも多くの児童が福祉に関心をもって学習していただけるよう、天草市社会福祉協議会も一緒に考えていきたいと思っております。

何かを手伝うことや、ボランティアをするのは、まだどうしようもないので、大きな声で元気にいってほしいことが始めたい。



自分から行動し、人を気遣いたい。家族だけではなく、他に困っている人を見かけたら、「どうしましたか」と優しく声をかけ、安心させたい。



災害時の相互応援体制の強化を!



(福)益城町社会福祉協議会にて益城町民生委員児童委員協議会との協議



(福)島原市社会福祉協議会にて島原市民生委員児童委員協議会連合会との協議



(福)上天草市社会福祉協議会にて上天草市民生委員児童委員協議会連合会との協議



(福)南島原市社会福祉協議会にて南島原市民生委員児童委員協議会との協議



(福)長島町社会福祉協議会にて長島町民生委員児童委員協議会との協議



(福)苓北町社会福祉協議会にて苓北町民生委員児童委員協議会との協議

大規模な災害が発生し、被災地だけでは災害ボランティアセンターの運営ができない場合や、民生委員・児童委員としての支援活動が十分にできない場合に、県境を越えてお互いに支援し合うことを目的に、協定を結んでいます。

それぞれの協定先を訪問した天草市民生委員児童委員協議会連合会の濱田会長、益田副会長、片白副会長と福本常務理事をはじめとする天草市社会福祉協議会の事務局は、災害が発生した場合に、おたがいの協力体制を整える大切さを再確認しました。

天草市民生委員児童委員協議会連合会 新春福祉懇談会



令和6年1月10日(水)、天草市民生委員児童委員協議会連合会の濱田幸人会長をはじめ幹事5名が、馬場昭治 天草市長を訪問され、地域福祉について懇談されました。

馬場市長からは、高齢者、障がい者、子どもに関する事など、地域住民の身近な相談相手としての活動に感謝の言葉を述べられました。

この懇談会の前に、令和2年7月の豪雨災害支援へのお礼に來られた松岡隼人 人吉市長は、豪雨災害の教訓として、災害発生時に支援者は複数の人を同時に連れて避難できないと話されたそうです。

馬場市長から「1月1日に発生した能登半島地震を二ユースで

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるために

見て、胸を痛めました。災害に対し、普段から備えておくことの大切さを痛感し、地域住民のことを把握しておられる皆さんの協力は欠かせません」と語られ、幹事からは、活動に対する支援へのお礼と、これからも地域の皆さんが安心して暮らすことができるよう、活動していきたいと抱負を述べられました。

今回の懇談会では、災害に備え



て、日頃から顔の見える関係づくりの大切さと、連携強化の必要性を改めて感じた、貴重な機会となりました。



片白 健次 (副会長) 橋野 君佳 (書記) 益田 秀人 (副会長) 馬場 昭治 (天草市長) 濱田 幸人 (会長) 山本 勝彦 (会計)

災害時相互応援協定

社会福祉協議会

- | | | |
|--------------|----|-------|
| ・島原市社会福祉協議会 | 会長 | 小川 学 |
| ・南島原市社会福祉協議会 | 会長 | 本田 利峰 |
| ・益城町社会福祉協議会 | 会長 | 西村 博則 |
| ・天草市社会福祉協議会 | 会長 | 馬場 昭治 |
| ・上天草市社会福祉協議会 | 会長 | 堀江 隆臣 |
| ・苓北町社会福祉協議会 | 会長 | 荒木 広徳 |
| ・長島町社会福祉協議会 | 会長 | 中納 武 |

民生委員児童委員協議会

- | | | |
|---------------------|----|-------|
| ・島原市民生委員児童委員協議会連合会 | 会長 | 河田 誠 |
| ・南島原市民生委員児童委員協議会 | 会長 | 松藤 嘉嗣 |
| ・益城町民生委員児童委員協議会 | 会長 | 土山 秀喜 |
| ・天草市民生委員児童委員協議会連合会 | 会長 | 濱田 幸人 |
| ・上天草市民生委員児童委員協議会連合会 | 会長 | 柿原 夫光 |
| ・苓北町民生委員児童委員協議会 | 会長 | 尾川 時 |
| ・長島町民生委員児童委員協議会 | 会長 | 川田 幸 |

(敬称略)



皆さんのご協力ありがとうございました

「日本赤十字社会費実績報告」

会費総額 **12,087,259円**

(令和6年1月31日現在)

寄せられた会費は、日本赤十字社熊本県支部へ送金し国内における台風、火災、水害、地震などの自然災害時の救護の活動と準備、物資の調達費等に利用されます。

また、国内にとどまらず、国際援助活動や青少年赤十字の普及・育成等に幅広く活用されています。

他にも、赤十字のボランティアの基礎研修を行い、多くの方が災害時に助け合える環境を整えるための資金として活用されています。

「赤い羽根共同募金実績報告」

会費総額 **20,989,229円**

(令和6年1月31日現在)

令和5年10月1日から展開されました赤い羽根共同募金運動は、地域の皆様をはじめ、各種関係団体の方々の温かいご協力により、多くの募金をいただきました。

寄せられた募金は、熊本県共同募金会へ送金し、令和6年度に県内の社会福祉団体・施設やボランティア団体に配分されるとともに、天草市へも地域配分金として地域福祉事業・ボランティア事業の充実のために活用しています。



こんなとき利用してみませんか？

今日は体調が悪いわ...

今日は残業になりそう...

自分か病院に行く間、子どもを預かってくれる人はいないかなあ。

でも仕事を抜けられない！誰か保育園の迎えに行ってくれないかなあ。

美容院に行きたいなあ...

熱は下がったけど、まだ保育園はねえ。

その時間だけ子どもをみてもらえたらなあ。

仕事も休めないし、困ったなあ。

【サービスの利用には会員登録が必要です。】

依頼会員

(子どもを預けたい方)

- 天草市内に在住または勤務されている方
- 生後6ヶ月から小学6年生までのお子さんがある家庭

協力会員

(子どもを預かれる方)

- 天草市に在住し、自宅等で子どもを預かれる方
- 心身共に健康で、子どもが好きな方
- センターが実施する講習会を受講していただける方

育児経験を活かしたい、地域で活動してみたい方は、ぜひご協力をお願いします！

お問い合わせはお近くの天草市社会福祉協議会各支所まで。

登録当初は、おひとりへの支援でしたが、最近では依頼が増え、3名の方へゴミ出しや掃除、雨戸の開け閉め等依頼内容に感じたお世話をしています。将来は誰かのお世話になるので、元気な内は進んで活動したいと思いい、毎日の散歩時に



活動のきっかけは、「自分に出るボランティアをしてみたい」と思っていた時に、社会福祉協議会から話し相手の支援依頼があり、**ほっと安心サポート事業サポート会員**に登録(令和元年5月)したことでした。

支え合い

みつけた

～みんなと一緒に明るく、楽しく、生き生きと～

活動のきっかけは、「自分に出るボランティアをしてみたい」と思っていた時に、社会福祉協議会から話し相手の支援依頼があり、**ほっと安心サポート事業サポート会員**に登録(令和元年5月)したことでした。

今回は、人とのつながりを大事にしながら、八幡町で活動されている、**わがまちサポーター まつむらえ 桜村みさ枝さん**をご紹介します。



趣味の絵画 (ワンストローク)

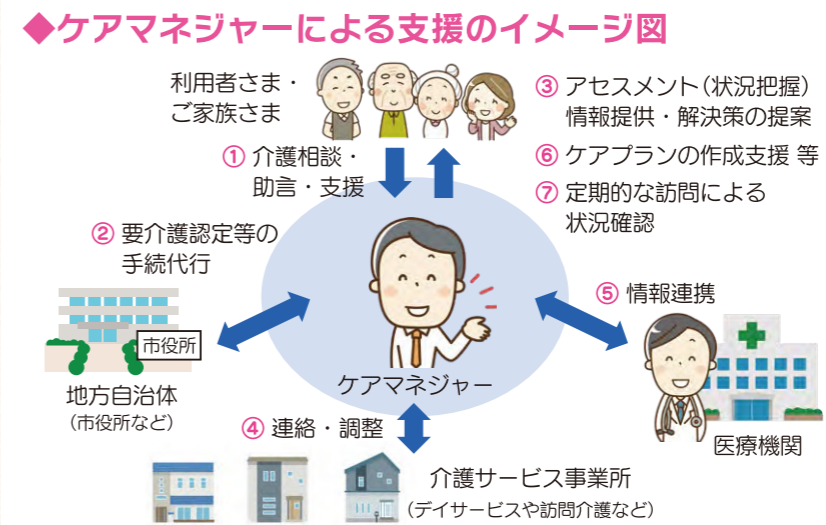
「これからも、人とのつながりを大切に、培った経験を活かしながら活動していきたい」と思いを語って下さいました。

皆さんも、桜村さんのように自分に出る活動を見つけてみませんか。



～介護保険コラム～【No2:居宅介護支援事業所】

介護保険のケアマネジャーがいる事業所です。在宅介護やサービスの利用に関する相談が気軽にでき、必要なアドバイスや申請支援が受けられます。在宅サービスが必要な方(要介護・要支援認定者)には、ケアマネジャーが状態把握を行い、介護計画(ケアプラン)の作成・サービスの利用調整を行い、在宅生活を支援します。



R6 2月末現在、天草市内には42の居宅介護支援事業所があります。

ご寄附御礼

一般財団法人 えがお健幸財団 様



ご寄贈ありがとうございます
ございました

令和5年12月28日、一般財団法人え
がお健幸財団(熊本市東区 代表理事
北野忠男 様)より車いす1台を、ご寄贈
いただきました。
いただいた車いすは地域福祉事業で
有効に活用させていただきます。

【訂正とお詫び】
※令和5年11月1日発行の広報紙「笑顔79号」10ページに表記の誤りがあり
ました。左記の通り訂正とお詫びを致します。
【誤】代表組合長 吉田 誠 様 ↓ 【正】代表理事組合長 吉田 誠 様

令和6年 能登半島地震災害義援金

— 受付のお知らせ —

令和6年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震により、北陸地方を中心に人的及び家屋への甚大な被害が発生しております。

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

石川県等に災害救助法が適用され、被災された方々を支援するため、次のとおり義援金の募集を実施いたします。皆さまからお寄せいただきました義援金は、日本赤十字社や共同募金会に全額送金し、被災者への配分が行われます。

【受付方法】 ①天草市社会福祉協議会窓口(本所・各支所)

②日本赤十字社 熊本県支部 または 熊本県共同募金会 へ直接振り込み

※振り込み方法につきましては日本赤十字社または共同募金会のホームページをご確認下さい。

赤い羽根共同募金



【受付期間】

令和6年 12月27日(金)まで

【Web】 <https://qr.paps.jp/S7DEk>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



【受付期間】

令和6年 12月27日(金)まで

【Web】 <https://qr.paps.jp/e1r04>

お住まいの地域の問合せ先

本渡支所	24-0100	牛深支所	72-2904	有明支所	53-0110	御所浦支所	67-3782
倉岳支所	64-3895	栖本支所	66-3367	新和支所	46-3770	五和支所	32-1076
天草支所	42-0678	河浦支所	76-1401				

〈編集・発行〉社会福祉法人

天草市社会福祉協議会

〒863-2201 天草市五和町御領2943番地 TEL(0969)32-2552 FAX(0969)32-2551
E-mail: amakusa-cosw@amasha.jp URL: <https://amakusa-shakyo.jp>

